

コンピュータチェック事例コード

48SJ990947201

コンピュータチェック内容

造影剤使用加算(MRI)の算定があり、脳出血等がある場合にチェックを実施。

コンピュータチェック根拠

MRI撮影(脳血管に対する造影の場合は除く。)について造影剤を使用した場合は、造影剤使用加算として、所定点数に加算するとされています。

グラフの見方

- 棒グラフ(該当レセプトの審査結果)
コンピュータチェックの対象となる診療行為(医薬品、特定器材)を算定している目視対象レセプト
1万件当たり、当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数
- 折れ線グラフ(該当レセプトの査定・返戻割合)
コンピュータチェックの対象となった項目が
査定・返戻となった割合

【棒グラフ凡例】審査の結果

査定	返戻	: 設定根拠どおり
請求どおり 職員	請求どおり 審査委員	: 検証が必要

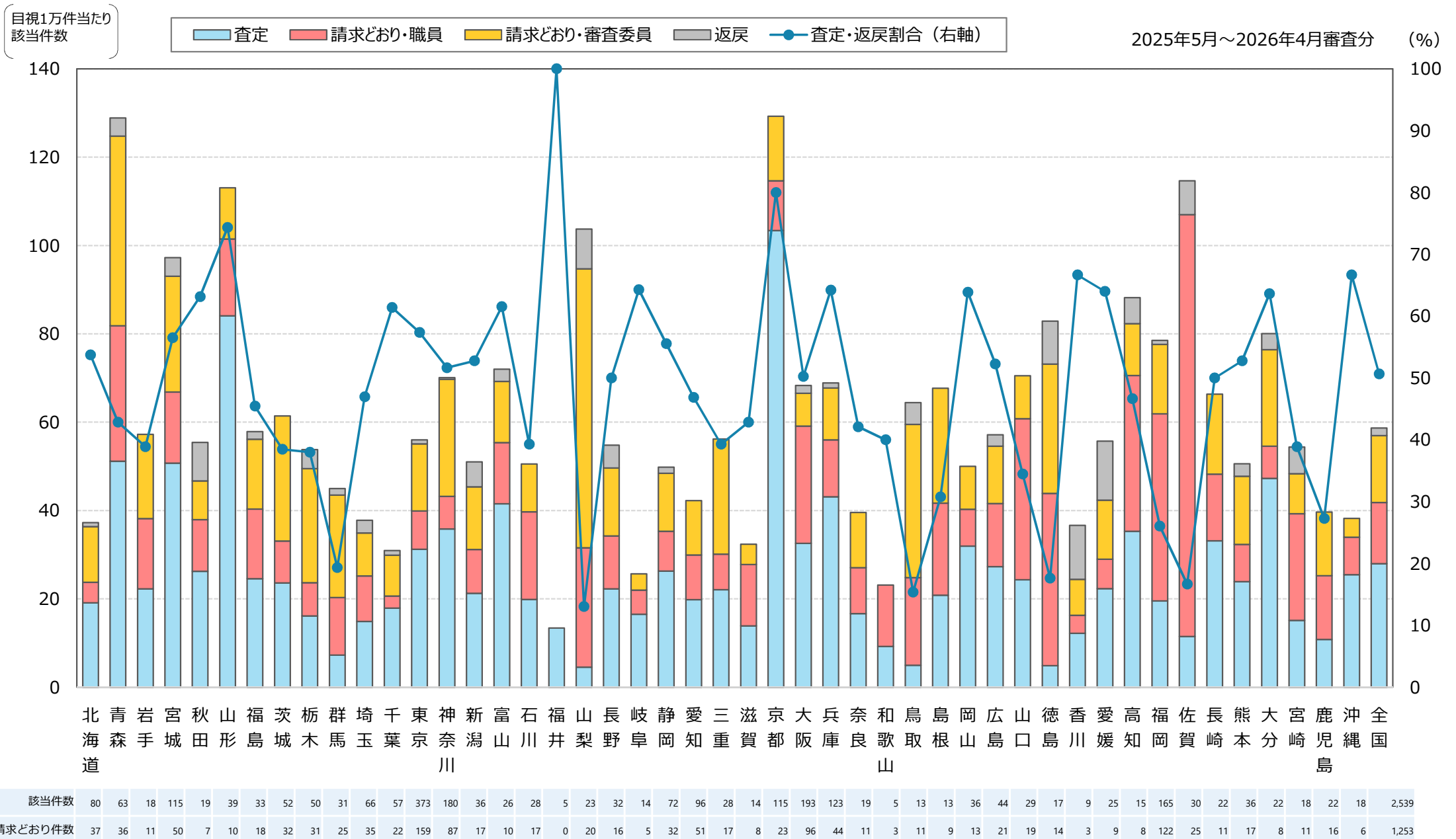
審査結果の概要

- 全国の査定・返戻割合 50.65%
- 検証対象都道府県 46

検証観点	都道府県※	備考
査定・返戻割合が低い	山梨、鳥取、佐賀、徳島、群馬、福岡、鹿児島、島根、山口、栃木、茨城、岩手、宮崎、石川、三重、和歌山	査定・返戻割合の低い順
請求どおり・職員	佐賀、福岡、徳島、山口、高知、青森、山梨、大阪、宮崎、島根、石川、鳥取、山形、宮城、岩手、福島	対象1万件当たり件数の多い順
請求どおり・審査委員	山梨、青森、鳥取、徳島、茨城、神奈川、宮城、三重、島根、栃木、群馬、大分、岩手、長崎、福島、福岡	//

※検証対象都道府県が16を超えたため、16都道府県を限度に表記している

該当件数(全国)	当該コンピュータチェックの内容に該当	2,539件
設定根拠どおりの審査	査定・返戻の計	1,286件
検証を必要とする審査	請求どおり	1,253件



【該当件数】当該コンピュータチェックの内容に該当したレセプト件数